

珠洲へ、門前(輪島市)へ、能登町へ

救援物資をお届けしています

センター通信 No.4(おコメと水が不足)をご覧いただいたみなさん、とりわけ農民連をはじめとする各種団体のご支援が強まり、おコメに関しては毎日約 100 ㌔、お水は 500cc ペットボトル 10 箱(240 本)が平均して届くようになりました。心から感謝申し上げます。同時に、入荷した物資は、一両日中に被災地に届けるように努力しており、まだまだ足りません。引き続き、みなさまのご支援・ご協力をお願いします。

共同
支援

珠洲市 自宅避難者に緊急支援

14 日(木)、要請を受け珠洲市へ緊急物資搬送。写真左から3人目が市役所の近くに住んでいる G さんです。現在すぐ近くの理髪店まで水道が来ていますが、G さん宅までは、まだ水道が来ていません。お水と食料を提供し喜ばれました。(写真右)



輪島市門前町 避難所生活者と懇談

16 日(土)、170 人が暮らす門前中学校の避難所へ野菜ジュースなど搬入(写真左)。要請者は、米沢スタッフ(右端)のパパ友の S 氏(木工職人兼ピアノ調律師、写真中央)。職場の工房と自宅が全壊し門前町の避難所で子どもたち 2 人とともに生活、「旧輪島市と違い門前町は自助努力の空気、市の対応に差を感じる」と話していました。

総勢15人、能登町で訪問・聞き取りアンケート(写真右)

16~17 日、能登町の共産党の2つの地元支部などが住民対面アンケート活動。センターの吉田次長らが参加しました。「上下水道がまだ復旧しない、いつになるのか」「仮設住宅の抽選に応募したが当選しなかったら不安」「地割れで家の基礎から傾いているのに半壊と診断された、罹災証明の判定見直しを」等の声が寄せられました。



継続的なご支援・ご協力をお願いします